

都道府県名:熊本県 団体名:一般財団法人 化学及血清療法研究所

地域

かけつけん

化学及血清療法研究所(化血研)が活動している熊本県熊本市は、九州の中央に位置し、東に阿蘇、西に有明海を臨み、水と緑に恵まれた地域です。特に豊かな地下水は、熊本地域※の水道水源をほぼ100%まかなっており、生活の基盤となっています。

※熊本地域：熊本市とその周辺市町村の人口約100万人が暮らす地域

経緯

化血研は、戦前、熊本医科大学に設置されていた実験医学研究所を母体として設立しました。現在では、ワクチン、抗血清等の製造・供給をはじめバイオテクノロジー分野の研究・開発を行っています。医薬品の製造には大量の水を必要とすることから、水資源の確保に責任ある立場として、地下水涵養事業など様々な取組を展開しています。また、新入職員への環境教育を充実させ、環境事故防止にも努めています。

- ・平成 8年 「化血研の森林」植樹開始
- ・平成13年 ISO14001認証取得
- ・平成17年 水田湛水事業開始

功績内容

○水源涵養の目的で、熊本県東部の山都町国有林に約19,000本のケヤキやブナなど広葉樹の植林を実施し、その効果は貯水量4,339m³/年、CO₂吸収量24トン/年に相当すると試算されています。

○水田から転用されている畑に、作物を植え付ける前の約3ヶ月間、農業用水を湛水(水を溜めること)し、熊本地域の地下水涵養に貢献しています。



職員への現場環境教育



環境経営を学ぶ
大学生の訪問



清掃活動

環境方針

この美しい自然を未来へ繋げる為に

基本理念
化血研は、環境問題が21世紀の人類共通の課題であり、安全の確保を基盤とした持続可能な社会の実現及び企業の存続と発展に必須の要件であることを認識し、すべての事業活動において環境の保全を目指して活動します。

行動指針

1. 環境マネジメントシステムの継続的改善
事業活動や製品、サービスによって生ずる環境への影響を適切に把握し、継続的及び目標を定め実践し、定期的に見直しを行うことにより、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。

2. 環境負荷の低減
以下の環境負荷の低減、汚染の予防を事業活動に積極的に取り込み、推進します。
(1) 環境に有害な製品、製造方法の改善・改良による省資源、廃棄物削減
→エネルギー削減後の廃棄物削減など
(2) 省エネルギー・地球温暖化防止→CO₂削減、省エネ配慮設計など
(3) 省資源・節水→節水の推進など
(4) 廃棄物の削減・再資源化→3Rの推進、ゼロエミッションの達成など
(5) 環境リスクの低減→危険物・有害物質の管理強化など

3. 環境法規等の順守
環境関連の法律・条例及び関連するその他の要求事項を順守します。

4. 環境教育の推進
環境教育を推進し、環境意識の向上、環境負荷低減に資する力量の育成・保持に努めます。

5. 社会貢献の推進
社会の一員としての自覚を持ち、水資源涵養の育成、地下水涵養事業への参加などの社会貢献を推進するとともに、企業の社会的責任(CSR)の遂行に努めます。

化血研
理事長 宮本誠二 2012年8月

化血研の環境方針



【植林】「化血研の森林」づくり



湛水中の水田